

製品名: DAN ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09781**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	19kDa

抗原情報

遺伝子名	NBL1
別名	NBL1; DAN; DAND1; Neuroblastoma suppressor of tumorigenicity 1; DAN domain family member 1; Protein N03; Zinc finger protein DAN
遺伝子 ID	4681.0
SwissProt ID	P41271
免疫原	抗血清はヒト NBL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

背景

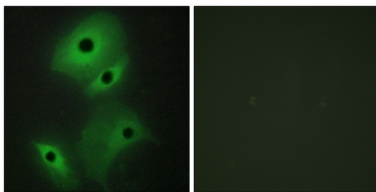
この遺伝子産物は、進化的に保存された CAN (Cerberus および DAN) タンパク質ファミリーの創始メンバーであり、多くのシグナ

ル伝達分子に見られる CTCK (C 末端シスチンノット様) モチーフに類似したドメインを含みます。これらのタンパク質は分泌され、BMP (骨形成タンパク質) に結合して受容体との相互作用を阻害することにより、BMP 拮抗薬として作用します。したがって、成長および発達において重要な役割を果たす可能性があります。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが同定されています。この遺伝子座と上流のミトコンドリア内膜形成システム 1 遺伝子 (GeneID 440574) との間でリードスルー転写が観察されています。[RefSeq 提供、2013 年 5 月]、疾患: NBL1 の欠陥は、ヒト神経芽腫の発生および/または進行の原因である可能性があります。機能: 神経芽腫の腫瘍抑制遺伝子の候補となる可能性があります。細胞が形質転換プロセスの最終段階 (G1/S) に入るのを防ぐ上で重要な役割を果たす可能性があります。類似性: DAN ファミリーに属します。類似性: 1 つの CTCK (C 末端シスチンノット様) ドメインを含みます。組織特性: 正常肺および髄膜腫に最も多く存在します。、

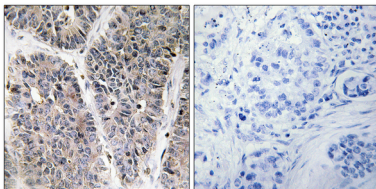
研究分野

-

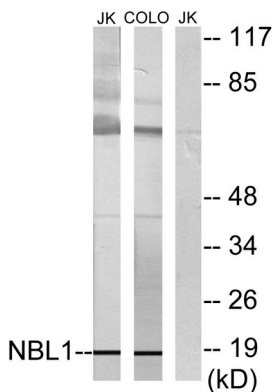
画像データ



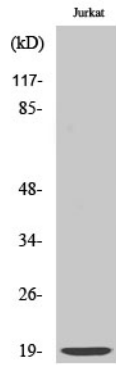
NBL1 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



NBL1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



NBL1 抗体を用いた Jurkat 細胞および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈した DAN ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析